

## 「神戸水道ビジョン」改定案に対する意見（全文）

	意見
1	<p>利用者から信頼され次世代を見据えた水道のページに関して、いくつか意見を述べさせていただきます。</p> <p>まず、一点目、「スマートメーター」とはどのようなものでしょうか。注釈で構わないので機能がわかる説明が欲しいです。例えば電話料金のように使用状況を契約者が確認できるシステムなのか、とか。</p> <p>二点目、人口減少の将来を見据えるのならメーターの検査員が全戸訪問しなくても済む、システム構築は検討されないのでしょうか。人件費の安い方が体力的に重労働されているのは合いません。</p> <p>そして三点目、水道管の更新工事の必要性は分かりますが、どれくらいの場所が更新済みなのか、一年以内に工事をする予定はどこなのか、順次工事に取り掛かっているという進捗を含めた広報・報告が欲しいです。自分の地域の安全性や将来の見通しを含めた広報が欲しいです。</p>
2	<p>① 人材確保と技術継承は重要なので、力を入れてください。聞くところによると、職員さんが、SPI という試験を受けさせられて、非常に点が悪くて、業務と何の関係があるのか、意味が分からないことをさせられるのは辛い、とのこと。SPI は、民間の採用試験で知能テスト代わりに行われておるようですが、既に採用している人に受けさせる意味がわかりません。水道事業の民営化を見据えて、首斬り候補をあぶり出すための目的なのでしょう。再雇用させないための根拠作り？水道関連の国家資格試験を受験させるならともかく、現業職員に、業務と関係が薄い、無意味な試験を受けさせるのは有害です。やる気を著しく削がせるので、二度とやらないでください。論理的思考力があるかどうかを数値化して測定して、人材棚卸しに活用するなら、そういう説明はされたのでしょうか。また、職員に、研修や自己啓発の機会があったのか。フィードバックはあったのか。今日日の民間採用試験の SPI 受験者は、ほとんど試験対策しております。対策しないと、大した点が取れない試験です。SPI はそういう試験特性であるという認識はあるのか。今の職員が、この職場にいて、来年、2年後、5年後、10年後、20年後、自分はどう成長しているのか、何となくでもイメージ出来るようなチーム作り、組織作りを心掛けることが大切だと思います。水道局の整理縮小が行われて職場転換が実施されておるなかでは、なおさら意識していかなければならないと考えます。</p> <p>② 有機フッ素化合物ピーファスについて。神戸市内で、水道からピーファスが検出されております。この計画では明文での言及が無いようですが、安心安全の水質確保に含まれているのか。また、明石川流域の明石市や、最大の水源の阪神水道企業団とも密接な連携、共同調査や、保健所とも共同で住民の継続的な健康診断など、やるべきことはたくさんあると思います。ピーファス問題の特別な対策プランを立てるべきだと思うが、今後の予定はどうなっておりますか。</p> <p>③ 水道修理について。神戸市を拠点とした、水道ぼったくりグループが問題化した際、水道修繕受付センターの電話番号を書いたステッカーを配布しました。これは非常によかったです。ぜひ、定期的に5年ごと、最低でも10年に一度は全戸配布してください。神戸市だけでなく近隣自治体とも連携して、スケールメリットを確保したらよいのではないのでしょうか。本案で、水道修繕受付センターが明記されておることを高く評価いたします。</p> <p>④ パブリックコメントの結果について。市民から寄せられた意見は、結論だけではなく、理由や事情、理論的背景が書いてあれば、省略せず公表してください。なぜそのような意見があるのかを、市民同士が共有できるところにパブリック（公共）の意義がある。他の市民の皆さんが、どんな意見を出してくるのか、楽しみにしております。他の部署では過剰に省略されている例があり、よろしくないと感じました。</p>

(参考意見) ※要件不備

	参考意見
1	改定案があまりにも具体性のないビジョンに過ぎず、内容が薄く、意見を求めるべき内容・新しい要素が伴っていないと感じました。また、これを策定することによって経営戦略（2024～2035）の見直しが見込まれているのか、上位計画たるビジョン（2026～2050）が、今策定される意味が分かりにくいですね。